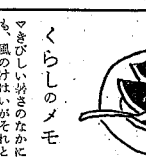
8月 広報のしおり

くらしのメモ



まきびしい暑さのなかに、風のけはいがそれとなく秋めいてくるこのごろです。

七日はもう立秋です。

マこの月はわたしたち日本人にとって忘れることのできない月です。六日の広島原爆記念日と九日の長崎原爆記念日、さらに、十五日の終戦記念日と……。

すでにふた昔になんとするのに、いまだに白血病、原爆症に苦しむ人の多いことを忘れてはならないと思います。

マ海へ山へ。このごろでは、小、中のこどもは、もちろん地域の青年団等が、いちどは海か山へ、かけて体をきたえたり、集団での生活を訓練したりするようになりましたたいへんけっこうなことです。

まずなによりさておいて事故をふせぐことに関係者はいくら注意してもしすぎることはありません。

⊙健康な夏休みを

氷水やのみすぎや、アイスキャンデー、アイスクリームのたべすぎで、おなかをこわすこどもが多い時期です。ボリも、ことしから生ワクチンの服用などで患者も少なくなったようですが、まだまだ十分注意がいります。

学童の耳、鼻、目、歯、など保気のいる治療は、この夏休み中にぜひ完治するようにしておきましょう。

夏休みも半ばすぎると、生活にも気がゆるみがでやすいものです。食中毒にみまわれたり、日射病にかかったりします。

これは結局、からだの抵抗力が弱まるからです。疲れすぎないこと、食事に気をつけることが第一です。

夏の疲労を回復

喰べ物に気を配って

とかく暑いと食事がすまないものです。

そんなとき、いま出盛りの薬じょうがをうすく切って、サット湯をとおしてあま酢にしていただくと、ごはんがすすみます。ヌタミソにつけるのもおいしいものです。また変わった調理法に、わらかい、ふっくらした薬じょうの裏先にたいて、これをテンプラにあげたり、しめった日本紙にくるんで火で焼いたりするとミソがしみみて、ごはんのおかずにも、酒のさかなにもよろこばれます。

新さつまいもが、上、など保気のいる治療は、この夏休み中にぜひ完治するようにしておきましょう。

夏休みも半ばすぎると、生活にも気がゆるみがでやすいものです。食中毒にみまわれたり、日射病にかかったりします。

これは結局、からだの抵抗力が弱まるからです。疲れすぎないこと、食事に気をつけることが第一です。

夏の疲労を回復

喰べ物に気を配って

とかく暑いと食事がすまないものです。

そんなとき、いま出盛りの薬じょうがをうすく切って、サット湯をとおしてあま酢にしていただくと、ごはんがすすみます。ヌタミソにつけるのもおいしいものです。また変わった調理法に、わらかい、ふっくらした薬じょうの裏先にたいて、これをテンプラにあげたり、しめった日本紙にくるんで火で焼いたりするとミソがしみみて、ごはんのおかずにも、酒のさかなにもよろこばれます。

新さつまいもが、上、中旬にかけて出回り始めます。蒸したり、バタ、ーつくだにの類では目鼻やくらげの類では、ちょうじ、ちょうじ、ちょうじ